

武華山（1758.5）、北見富士（1291）

2015, 9, 5（土）～6（日）

C L 相馬、S L 長沼、酒井、今野、八重樫、笹山、川村、水江

9月5日（土）武華山

幌別駅5時出発。苫小牧西で高速を降り、相馬C Lと合流。予報では週末の天気はまずまずのはずだったが、層雲峡は雨。しかし、祈りが通じたか石北峠のあたりから晴れ間も見えほっとする。国道から登山口までの距離は短く、10:00 出発。10:13 分岐を東尾根コースへと進む。しばらくは左岸沿いの勾配の緩い道を進むが尾根にとりつき、急登になる。途中で



下山してきた人に聞くと 40 人くらい登っているとのこと。林道入り口にあった大型バスの団体だろう。登山会なのか草刈は行き届いている。11:20 頃尾根上に出る。11:30 頃からハイ松のトンネルになる。小雨が降りだし急いで合羽を着る。11:56 前ムカ。武利岳への縦走路が見える。ウラシマツツジの紅葉が始まっていた。12:33 武華山ピーク。

昼食をとっていると再び雨が降り出し、急いで下山開始。13:30 ライオン岩通過。14:50 無事登山口に着いた。途中から雨模様になったものの、時折石狩岳やトムラウシなど山座同定することができた。



武華山ピーク

9月6日（日）北見富士

4:30 起床。昨日とは打って変わって気持ちのいい秋空だ。当初、武利岳の予定だったが、途中の林道が通行不可能とのことで、リーダーの判断で予定を変更して北海道百名山の北見富士に切り替えた。国道から丸瀬布へ抜ける途中から北見富士への林道に入る。林道を車でかなり上り 7:00 登山開始。



武華山・ライオン岩

この山ははっきりとした夏道はなく、踏み跡やピンクテープを頼りに登ることになる。リーダーは時折GPSで現在地を確認。最初のうちは軽い笹藪漕ぎ状態だったが、徐々に勾配がきつくなるとともに踏み跡がはっきりしてきた。30度前後と思われる勾配を時にジグを切りながら登っていく。終始、樹林帯を登っているため涼しくて助かるが展望は全く利かない。ペース配分を考えながらゆっくり登り、8:50 ピーク。10:11 登山口に戻った。帰りはキノコのお土産確保に若干の時間を費やし、下山後は塩別つるつる温泉で2日間の汗を流して帰路に就いた。武華山からは武利岳への縦走コースがはっきりと確認できた。ぜひ今度挑戦したい。

（文責：水江）



北見富士ピーク